

恵庭市国際化推進 アクションプラン

恵庭市 企画振興部 企画課

1.「恵庭市国際化推進アクションプラン」策定の趣旨

恵庭市では、平成 18 年より 10 年間の推進期間として「恵庭市国際化の指針」を策定し、指針に基づき、行政、市民、企業、国際交流団体がそれぞれの役割を担い国際化を進めてきました。平成 27 年度で指針の推進期間が終了したことなどを踏まえ、平成 29 年 3 月に「恵庭市国際化の指針【改訂版】」が策定され、さらに連携・協働のもと国際化を推進することを目指しています。

指針では恵庭の市民一人ひとりが国籍や文化的背景に関係なく、多様な価値観を理解しようとする意識をもち、市民、民間団体、行政との協働により国際社会と繋がる恵庭のまちづくりを総合的に推進していくための基本目標や取り組みの方向性を示しています。

「恵庭市国際化推進アクションプラン」は平成 30 年度から平成 37 年度(第 5 期恵庭市総合計画内)までの間「恵庭市国際化の指針」を具体的にどのように取り組み進めるのかというものを示すもので、実施期間を前期(4年)と後期(4年)に分けて進捗管理を行います。

2.国際化推進の基本的な考え方

経済・社会・文化・スポーツなどが国を越え自由に交流しあう時代にあつて、生活習慣や文化的背景の異なった多くの人たちが日本を訪れ、地域においても住民の一員として暮らすようになってきています。このような中、市民一人ひとりが国際社会の一員であることの認識を持ち、国際化に対応した地域づくりが求められています。

国際化の推進にあたっては、地域における様々な国際交流活動、国際化への取り組みを通して、市民の異文化理解と国際感覚の醸成を図るとともに、海外との経済交流活動など多様な活動を進めます。特に、次世代を担う子どもが、グローバル化する社会に適應できる国際感覚と国際的な意識を持てる人づくりを進めます。

さらに、広く、多様な交流を通して世界に開かれた地域づくりと、市民はもとより地域で暮らす外国人にとっても住みよい恵庭市を目指して、行政、市民、企業、国際交流団体がそれぞれの役割を担い、相互協力と連携を図りながら、次の4つの視点(基本目標)を持って国際化を推進していきます。

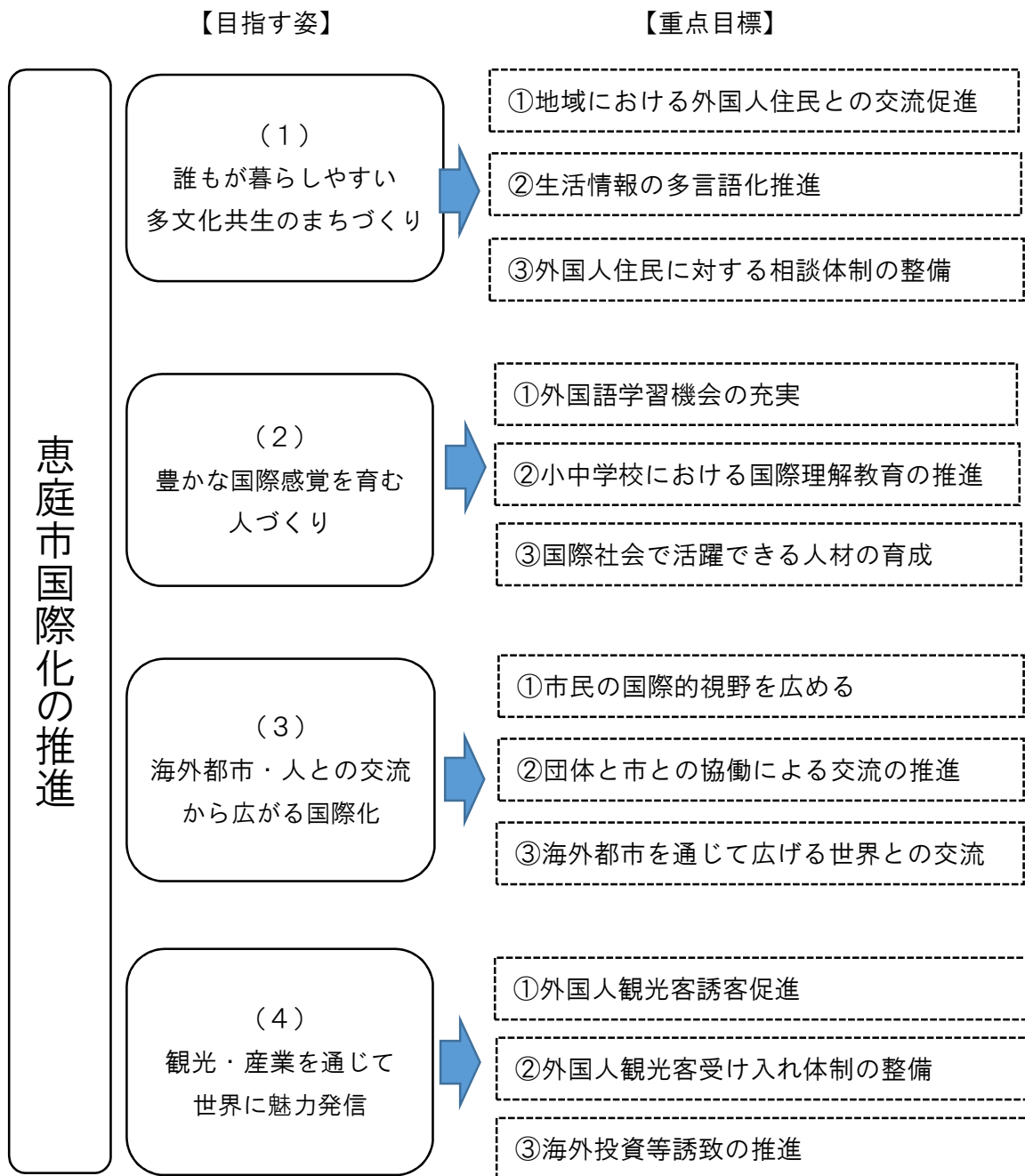
国際化に向けた 4 つの視点

目指す姿 1 誰もが暮らしやすい多文化共生のまちづくり

目指す姿 2 豊かな国際感覚を育む人づくり


目指す姿 3 海外都市・人との交流から広がる国際化

目指す姿 4 観光・産業を通じて世界に魅力発信



恵庭市国際化推進アクションプラン

《事業実施状況等の説明》

	現在、すでに実施している取り組み。 効果検証等を経て適宜実施方法等の見直しをしていく。
	1～2年で手法を検討し、実施を目指す取り組み。
	前期中に手法等を検討し、後期に実施を目指す取り組み。

《想定される取組主体についての説明》

行政	国・北海道・恵庭市が主体となって実施する取り組み
協働	行政と民間事業者又は市民や市民団体との連携によって実施する取り組み

目指す姿 1: 誰もが暮らしやすい多文化共生のまちづくり

⇒重点目標 ① 地域における外国人住民との交流促進

アクションプラン	想定される取組主体	実施年度							
		前期				後期			
		H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37
○学習・交流する機会の設置 お互いの文化や生活習慣を理解するための学習や交流の機会を設け、相互理解を深める。 ・異文化交流会の開催 ・海外体験報告会の開催 ・町内会での多文化共生学習機会等の促進 ・市職員向け多文化共生研修会や外国人接遇など学習会の開催	協働				効果検証			効果検証	
○日本の生活習慣や文化を学ぶ機会の設置 日本の生活習慣や文化・言語の学習機会の提供や各種行事への参加案内など、外国人住民が地域へ溶け込むための手法を検討し実施する。 (考えられる取り組み事例) ・日本語習得支援ボランティアの育成 ・日本語習得支援事業の実施 ・日本文化体験会等の実施	協働	手法検討			効果検証			効果検証	
○外国人住民も安心して暮らせるまちづくり 災害や緊急時における円滑な支援のため、日頃から町内会、ボランティア、行政が連携し、地域が一体となって外国人が安心して暮らしていけるまちづくりの進め方について手法を検討・実施をしていく。	協働								効果検証
○市内の行事への参加促進 外国人住民も積極的にスポーツ・文化・芸術等の市内行事に参加してもらえるような取り組みを検討し実施する。	協働	手法検討			効果検証				効果検証

⇒重点目標 ② 生活情報の多言語化推進

アクションプラン	想定される 取組主体	実施年度							
		前期				後期			
		H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37
○多言語による情報発信 ホームページをはじめ様々な媒体を通じて、恵庭市の自然、観光、経済、文化、生活、国際交流活動などの多言語による情報発信を進める。	協働				効果検証				効果検証
○生活案内、観光案内、案内標識等の多言語化 地域での生活の利便性を図るため、行政サービス・医療機関・市内主要施設などを多言語で表記した生活ガイドブックや観光マップ、案内標識の整備を推進する。	協働				効果検証				効果検証

⇒重点目標 ③ 外国人住民に対する相談体制の整備

アクションプラン	想定される 取組主体	実施年度							
		前期				後期			
		H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37
○相談体制・インフォメーションセンターの整備 ・子育てや災害緊急時の対応など多様なニーズに対応できる相談体制の整備。 ・旅行やビジネスなど一時的に訪れる外国人までが気軽に相談できるインフォメーションセンター等の設置。	相談体制 協働				効果検証				効果検証
	インフォメーションセンター 行政	手法検討				検討			実施
○多言語対応可能者の連絡体制の整備 ・多言語対応可能者の登録方法の検討。 ・登録者の活用手法の検討。	協働				効果検証	手法検討			効果検証
○外国籍又は海外出身の子どもたち(小中学生等)へのサポート体制の整備 ・必要とされている支援等の整理。 ・サポート体制のあり方の検討。	協働				効果検証				効果検証

目指す姿 2: 豊かな国際感覚を育む人づくり

⇒重点目標 ① 外国語学習機会の充実

アクションプラン	想定される 取組主体	実施年度							
		前期				後期			
		H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37
○市民向け外国語講座等の推進 ・ALTや民間の人材を活用し、市民向け外国語講座等の事業の推進。	協働			効果 検証				効果 検証	
○子どもたちの語学能力とコミュニケーション能力向上事業の推進 ・次世代を担う子どもたちの語学能力とコミュニケーション能力向上事業を推進。	協働			効果 検証				効果 検証	

⇒重点目標 ② 小中学校における国際理解教育の推進

アクションプラン	想定される 取組主体	実施年度							
		前期				後期			
		H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37
○異文化理解等の学習活動の推進 ・小中学生向けの英語講座や異文化理解等の学習活動等の事業を推進。	協働			効果 検証				効果 検証	
○海外の学校との交流活動を促進 ・交流手法等の検討。 ・海外の学校と交流を希望する市内学校の確認。 ・交流先として可能な海外の学校等の募集。	協働							効果 検証	
○ALTの配置	行政			効果 検証				効果 検証	

⇒重点目標 ③ 国際社会で活躍できる人材の育成

アクションプラン	想定される 取組主体	実施年度							
		前期				後期			
		H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37
○セミナー・ワークショップなどの開催 ・国際理解や国際感覚の醸成を促進するセミナーやワークショップの開催。 ・国籍等による不当な差別や排斥運動を防止するための教育、啓発活動の促進。	協働			効果 検証				効果 検証	
○国際交流プログラムへの取り組みを促進 ・留学やホームステイなどの国際交流プログラムの取り組みを促進。	協働			効果 検証				効果 検証	

目指す姿 3: 海外都市・人との交流から広がる国際化

⇒重点目標 ① 市民の国際的視野を広める

アクションプラン	想定される 取組主体	実施年度							
		前 期				後 期			
		H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37
○中国・貴陽市、ニュージーランド・ティマル市との交流 これまでの交流経過を尊重し、引き続き交流を促進するとともに、それぞれの市民生活の豊かさや地域経済活性化に繋がる国際交流を実施していく。	協働			効果検証				効果検証	
○姉妹都市・友好都市等の紹介 イベント会場等で姉妹都市・友好都市等を紹介する。	協働			効果検証				効果検証	

⇒重点目標 ② 団体と市との協働による交流の推進

アクションプラン	想定される 取組主体	実施年度							
		前 期				後 期			
		H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37
○留学生・ホームステイの派遣・受入れ促進 各団体が実施している留学生・ホームステイの派遣・受入れ事業により多くの市民が参加できるよう事業を促進していく。	協働			効果検証				効果検証	
○海外都市との交流事業等に関する情報共有 団体と行政とが協働で取り組み、より多くの市民に交流に参加してもらえるよう情報共有を進める。	協働	手法検討		効果検証				効果検証	

⇒重点目標 ③ 海外都市を通じて広げる世界との交流

アクションプラン	想定される 取組主体	実施年度							
		前 期				後 期			
		H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37
○大使館・領事館等を活用した事業等の推進 交流先の都市とだけではなく、お互いの社会情勢や文化等への理解を深化させるために、双方の大使館・領事館等を活用した事業等を推進する。	行政			効果検証				効果検証	

目指す姿 4: 観光・産業を通じて世界に魅力を発信

⇒重点目標 ① 外国人観光客誘客促進

アクションプラン	想定される 取組主体	実施年度							
		前期				後期			
		H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37
○海外向けPR活動の推進	協働			効果 検証				効果 検証	
○魅力情報発信パンフレット等の作成 外国人観光客の視点にたった魅力情報発信パンフレット 等の作成を促進する。	協働			効果 検証				効果 検証	

⇒重点目標 ② 外国人観光客受け入れ体制の整備

アクションプラン	想定される 取組主体	実施年度							
		前期				後期			
		H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37
○案内板、ホームページ、観光パンフレット、観 光ガイドなどの外国語対応の充実	協働			効果 検証				効果 検証	
○外国人接客研修等の開催、国際観光通訳ボラ ンティア等の育成	協働	手法 検討		効果 検証				効果 検証	
○外国人観光客への対応マニュアルや会話ツ ール等の活用促進 国や北海道と連携した、外国人観光客の受け入れ体制の整 備を進め、今後増加すると見込まれる一般住宅を活用し た民泊においても活用を促す。	協働	手法 検討						実 施	

⇒重点目標 ③ 海外投資等誘致の推進

アクションプラン	想定される 取組主体	実施年度							
		前期				後期			
		H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37
○「恵庭」の知名度向上。 北海道等と連携し海外との経済交流を進め、「恵庭」のナ ショナル・ブランドからワールド・ブランドへの知名度 向上を目指す。	協働			効果 検証				効果 検証	
○海外企業等のニーズに対し、早急かつ的確に 対応できる体制づくり	協働			効果 検証				効果 検証	

恵庭市国際化推進アクションプラン

策 定 平成 30 年 3 月

編 集 恵庭市企画振興部企画課

〒061-1498

恵庭市京町 1 番地

Tel 0123-33-3131

Fax 0123-33-3137